

猛暑や豪雨、熱波、干ばつ、  
洪水、山火事といった異常気象が  
近年増えつつあり、これは、地球温  
暖化の加速と共に増加し続けると  
言われています。

SDGsとは、17のゴール、169のターゲット  
から構成され、地球上の誰ひとり取り残さ  
ないことを誓う、持続可能でより良い世界を  
目指す国際目標のことです。生物や海、陸の豊  
かさを守り、環境問題への具体的な対策を行うこと  
などが目標とふいわり、期限の2030年までの達成のため、  
私たちの知識や行動の見直しが必要となっています。

ポイ捨てされたごみは、鳥に食べら  
れたり、風によって海に流れ、海洋ごみ  
として海を汚れてしまいます。そのため、  
私たちはごみをきちんとごみ箱に捨て  
たり、適切にリサイクルしなくてはなりません。

バイオミミクリーとは、日本語で「生物模倣  
技術」のことを指し、環境変化とともに生き延びて  
きた生物や自然の構造を解明し、新しい技術に利用  
することを目指します。現在では、シロアリのアリ塚  
の構造から、夏でも空調のいらない建物や、鳥の羽の  
形状から効率的に発電する省エネを実現したファンなど  
が開発されています。

海をただようプラスチックごみが  
近年問題視されつつあります。これらの  
プラスチックは魚や鳥に食べられ、動物を  
苦しめると同時に、紫外線や波の力によっ  
て目に見えないほど小さくなり、病気を起してい  
る可能性があると言われています。

環境マネジメントとは、企業や団体などの組織が経営の中で、環境に対する方針や目標を設定し、達成のために取り組んでいく体制やプロセスなどのことをいいます。環境と経済の両立を両方共に行うことが重要視されています。

地球上には、すでに多くのマイクロプラスチックが存在し、中には水や空気中にもあるとされています。現在、除去する技術が開発されていますが、まずは私たちがゴミを捨てる、適切に捨てる、捨てるべきではありません。

クリーンエネルギーとは、太陽光、風力、水、地熱、バイオマスといった、CO<sub>2</sub>を排出することなく、継続的に利用できるエネルギーのことです。現在、環境保護のために、設置が進んでいます。

静岡市では、水素燃料を使った公共バスが増えつつあり、脱炭素化に向けての努力が続けられています。

家を建てる時の住環境の温度設定を18℃以上に設定すると、暑すぎたり寒すぎたりすることなく健康に過ごすことができます。

サンゴ礁は海水温の上昇に弱く白華と成って死滅する。  
白華の範囲と速度を観察する事で地球温暖化の状況が確かめられます。

蜃気楼のように幻と消えてしまわないよう、地球温暖化対策を皆でより一層進めていく必要があります。

身近なところでは、節電といった待機電力を極力使用しない努力、節水、服を脱ぎ着することでの温度調整などを積極的に活用するなどがあげられます。

ホテイソープよりも固形せっけんを選択することは、水を汚しにくい  
うえ、いずれ自然に還るために環境に優しいと言われています。

ソーラー発電は耐用年数が来た時の後処理を考えながら進めていく必要があります。  
あり、後世の負の遺産とならないよう考えていかなくてはなりません。

ごみの減量、分別、節水、省エネ  
公共交通の利用や次世代自動車の利用  
地産地消、テレワークの推進など様々なアクション  
を起こすにふたって面倒に思う事も将来の  
地球のためにとにかく目でやってみよう、と  
いう気持ちが大切だと考えます。

地元でとれた旬なもの

食材まるごと

水を大切に

身近な自然環境の素材の  
竹を活用して生ごみを  
たい肥化して、資源化に  
チャレンジ!!

賞味期限の近い手前から  
取ることをみんなで意識  
すれば、膨大な日本の  
食品ロスを減らすことに  
繋がります。

静岡市の都市ごみから作られた  
溶融スラグ入り藻場ブロックは、  
ケイ酸成分の放出により、海藻の  
生育を促し藻場生態系を創出し、  
脱炭素へ貢献しています。

1800℃の溶融炉でほぼ100%完全  
溶融スラグ化された家庭ゴミ等は  
循環資源として静岡市の土木、  
農業肥料等に役立てられ、  
循環型社会を創出しています。

ネイチャーホジティブとは、生物多様性の  
棄損に歯止めをかけ、自然をプラスに  
増やしていくことを意味する。  
商品やサービスを作り出すための  
資材を供給する生態系を守ることが  
持続可能なビジネスにもつながると言える。

国連は2012年の報告書において、  
地球は既に限界点に達している  
ことを明示。(Planetary Boundaries:  
人間が地球上で持続的に生存していく  
ためには、超えてはならない地球環境の  
境界(バウンダリー)があることを明確に示した概念)

ラクトアイス 要冷凍

西ヶ谷工場では1800℃で家庭ゴミなどの廃棄物を  
完全溶融し急冷却したものを溶融スラグと  
言います。それを活用したものがスクイカルとして  
販売されており、病害虫に強く自然環境に  
おいて弱アルカリ性も長期間継続する事が  
できています。

静岡市では、生活排水中の汚泥(有機物)  
を細菌類等微生物の働きを利用して  
処理することで、生活排水を  
資質が良好で透明度の高い  
処理水に変えています。

家庭内の電力消費割合の10%を照明が占めています。

白熱電球からLED電球に変えると

約9ヶ月(1500時間)程度でコストは逆転!!

トータルコストでお得です。またLEDは長寿命で長期交換不要はメリットです。

プラスチックは日米があたりと硬くなっています。マイクロプラスチックの海洋汚染問題は深刻で私たちの体内にも魚を食べたりする事や空気に浮遊するマイクロプラスチックを吸い込むことで入っているといわれています。プラスチックのゴミを減らす為に行える事として、レジ袋を断つ、マイバッグマイボトルを持参する、ゴミを持ち帰る、容器を断つ、使う、清掃活動に参加する、資源回収に出す、などが挙げられます。

### 食品ロスとは?

本来食べられる状態であるにも関わらず

食品が廃棄されてしまうこと。

日本の食料自給率は37%近くを輸入に頼っているにも関わらず年間2.1兆円にも昇る経費をかけた収集運搬し、大量のCO<sub>2</sub>を排出して気候変動を起し、埋立処分場もひっ迫している。

我々消費者がとりくめることとして冷蔵庫内の在庫管理

外食時は食べさせる量の注文などがある。

生ゴミと竹粉でたい肥が作れて「環境と社会に良い」と海外の人にも関心を示しています。生活上の問題点として生ゴミを減量して竹粉と混ぜる事でたい肥として資源化し、また放置竹林を整備して里山の保全と竹の有効活用として竹粉が注目されています。竹粉は固めれば燃料にもなります。

ふーじばんくふじのくにはフードバンクを地域の仕事組として定着させ食を通じて人の縁を結び、お互いが助けあう、困った時はお互いさまを目標するために10を超える団体が一っとなり運営しています。「もったいない」食品を「ありがとう」という気持ちに変えることが当たり前の社会になることを目指しています。

**むだ**  
ななくし、  
エネルギーや  
天然資源を  
効率的に  
利用する  
DON'T WASTE RESOURCES!

循環型社会とは従来の社会、経済の構造やライフスタイルを見直し地球環境に負荷をかけない持続可能な社会づくり。  
未利用な資源（竹粉も活用した生ごみの堆肥化）を使用した紙と植物セメントで作る再生紙（など）も活用して健康的な生活を持続できる社会  
生物多様性に富んだ社会の構築を目指す

**もり** はCO<sub>2</sub>の吸収、  
生物多様性保全、  
土壌保全、水源機能などの力をもち、  
地球温暖化防止に大きく貢献している  
Forests help us  
in many ways everyday

静岡市には、あま谷工場、沼上工場の2つのごみ処理施設がみえますが、「施設の老朽化と最終ごみ廃棄物埋め立て地の確保」のためにはごみの分別と減量が不可欠です。ペットボトルびん、缶、紙などには分別、リサイクルをし、ごみ出しはルールを守って行ないましょう。

**×** タンガスを  
再生エネルギー  
として利用し、  
輸入依存を  
減らそう！  
USE RENEWABLE  
ENERGY! CH<sub>4</sub>

「容器リサイクル」は  
プラスチックやガラスなど  
の再利用を促進し、  
廃棄物削減に  
寄与する。

Container includes  
(glass/plastic/paper)  
or any receptacles  
should be recycled

④ ゆききばい  
化学肥料や農薬  
を使わず、自然に  
優しい方法で作  
物を育てる持続  
可能な農業

Organic food is  
free from synthetic  
fertilizers or pesticides

⑤ やせい生物の  
多様性が、相互  
関係の網をきり  
人間の環境を支え  
るきばいとなる

Wildlife conservat-  
ion is important for  
protecting human  
nature.

「ルネサンス」は  
「再生」を意味し、  
文化復興の  
象徴としても用いられる  
フランス語

14世紀から16世紀ごろにヨーロッパ  
で広がった文化の大きな変化

イエローソホン活動とは、人の意識を変え  
障害のある人もない人も共に暮らし  
全ての人が参加できる社会を皆で作る  
活動です。

「ラブアース」は  
地球愛をテーマに、  
清掃や植樹などの  
市民活動を通じて  
環境を守る運動

We must care for  
and appreciating  
our planet that leads  
to help sustain  
our lives !

静岡市は優秀な溶融炉にて  
ゴミ資源化再利用を実現しています。  
が、一日の処理量には当然限界が  
あります。静岡市民の衛生環境  
が優秀な溶融炉に守られていると  
いうことを忘れてはなりません。

脱炭素につながる暮らしの例として  
太陽光発電、住宅の断熱化、高効率給湯器、  
量り売り、自動決済、LED照明、サステナブルファッション  
公共交通や自転車徒歩での移動、次世代自動車導入  
テレワーク、省エネ家電、ゴミの削減を分別、即  
地産地消、食べ切り、クールビズ・ウォームビズなど  
キリがありません。

2024年の世界の平均気温は、人間の技術が  
急速に進歩し始めた産業革命前と比べ、  
1.55℃上昇しました。この上昇と暑さはより温  
暖化を促進させ、人類はすでに後戻りのでき  
ない窮地に立たされたと言われています。人類の  
この先の行方は今を生きる私たちにかかっているのです。

森林は地球の陸の30%を占めており、  
森の生き物たちのすみかとなると共に、洪水  
や土砂崩れなどを防止する機能やCO<sub>2</sub>吸収など  
の役割を担っています。そのため私たちは温暖化  
に由来する火災や過度な開発から森林を  
守り、将来の世代までつなげ、維持していく必要が  
あります。

現在世界では約16万種の生物が  
絶滅の危機にあります。一種の絶滅  
で生態系は変化し、多様性は失わ  
れていきます。そのため日本では「種の保存  
法」という法律で生物を保護しています。